

株主様向け 会社説明会

2011年6月29日



株式会社 ミマキエンジニアリング
JASDAQ 証券コード: 6638

Mimaki[®]

震災の影響について

この度の東日本大震災及び長野県北部地震により被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。
皆様の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

■被害の状況について

当社グループ従業員・家族を含めた、人的被害はございません。また、当社の本社を含む長野県内の工場等設備についても被害はございません。

仙台営業所においては、当初営業を見合わせておりましたが、営業を再開し、お客様のサポート強化を目的として、山形県天童市に「山形サテライト」を開設いたしました。

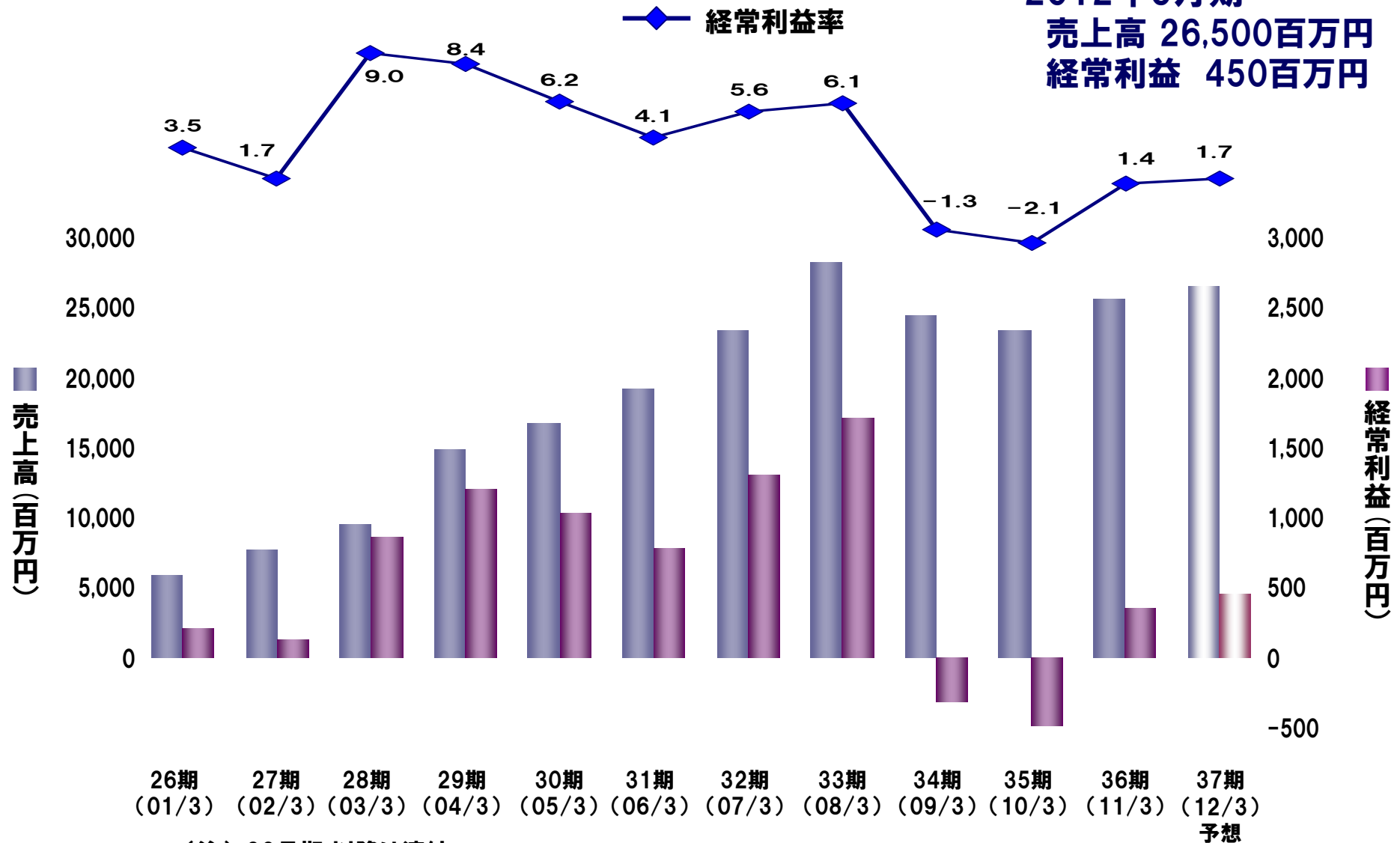
■今後の見通しについて

東日本大震災の影響については、現時点で把握可能なものを次期の計画に考慮しておりますが、東北地方のお客様に対するサービス体制も通常通りに戻りつつあること、当社の生産体制への重大な影響も発生していないこと等から軽微なものを見込んでおります。

今後、開示すべき事由が生じた場合には、速やかに開示いたします。

連結売上高推移

2012年3月期
 売上高 26,500百万円
 経常利益 450百万円



(注) 30月期 以降は連結。

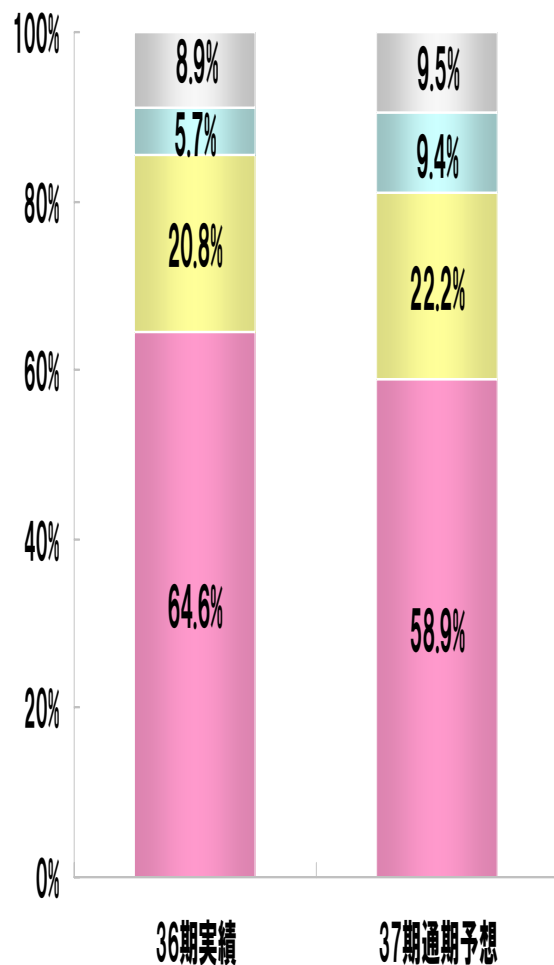
連結業績予想

(百万円、%)	36期実績	37期予想			対36期	
		上期予想	下期予想	通期予想	増減額	増減率
売上高	25,620	13,090	13,409	26,500	879	3.4
営業利益	700	280	339	620	△80	△11.5
経常利益	351	197	252	450	98	28.0
当期純利益	144	92	91	184	39	27.6
為替レート(円、%)						
米ドル	85.72	82.00			△3.7	△4.3
ユーロ	113.13	110.00			△3.1	△2.8

36期実績に基づく為替感応度(理論値)
 (為替レート1円変動による営業利益影響額:12か月相当額)
 米ドル:22百万円
 ユーロ:59百万円

機種群別売上高予想

【構成比率】



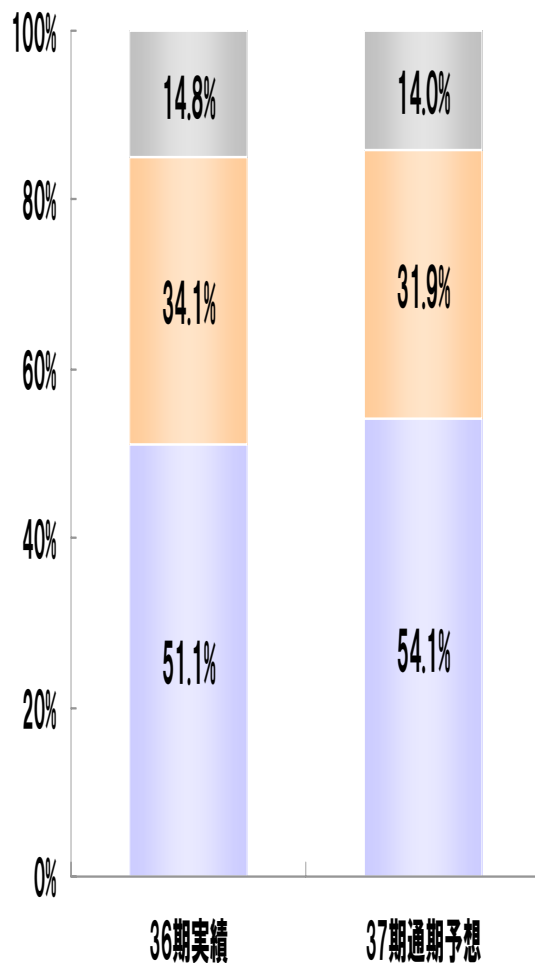
(百万円、%)	36期実績	37期予想			対36期	
		上期予想	下期予想	通期予想	増減額	増減率
SG市場向け	16,564	7,939	7,680	15,620	△944	△5.7
IP市場向け	5,333	2,762	3,128	5,890	557	10.4
TA市場向け	1,450	1,167	1,314	2,481	1,031	71.1
その他	2,272	1,221	1,286	2,507	234	10.3
合計	25,620	13,090	13,409	26,500	879	3.4

下期売上高予想は、為替想定の変更による影響を含む
 SG: 為替の想定レートを円高としたこと及び先進国エリアでの
 新規需要の減少等による減収
 IP: UJF-3042の好調継続に加えて、JFXシリーズ等による
 高額商品の拡販による増収
 TA: 新たな捺染インクの投入による製品本体の拡販による増収

SG市場向け IP市場向け TA市場向け その他

品目別売上高予想

【構成比率】



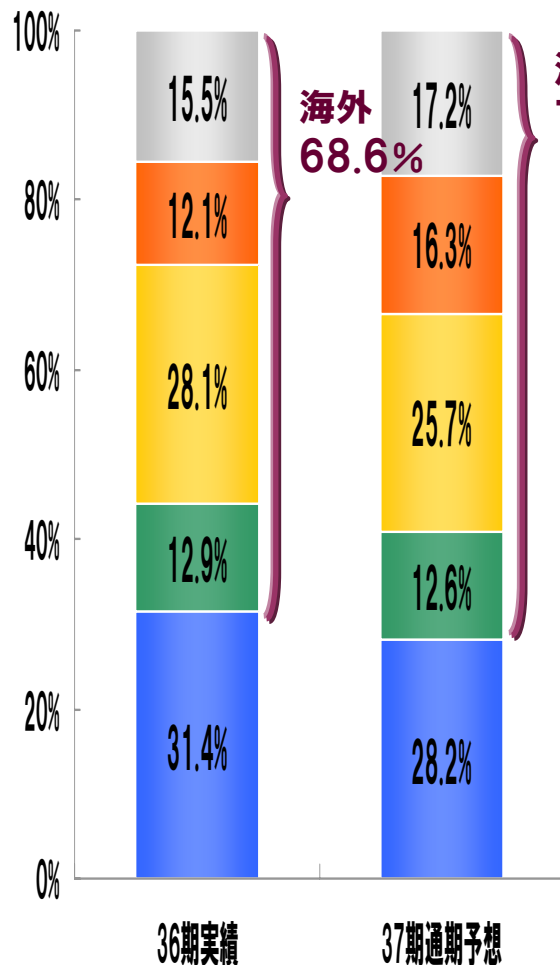
(百万円、%)	36期実績	37期予想			対36期	
		上期予想	下期予想	通期予想	増減額	増減率
製品本体	13,107	7,051	7,270	14,322	1,215	9.3
インク	8,731	4,211	4,247	8,458	△273	△3.1
その他	3,781	1,827	1,891	3,718	△62	△1.7
合計	25,620	13,090	13,409	26,500	879	3.4

製品本体:UJF-3042の好調継続、JFXシリーズ、Tx400シリーズの拡販による増収
 インク:SG市場の需要予測と円高想定の影響による減収

製品本体 インク その他

エリア別売上高予想

【構成比率】



海外
71.8%

(百万円、%)

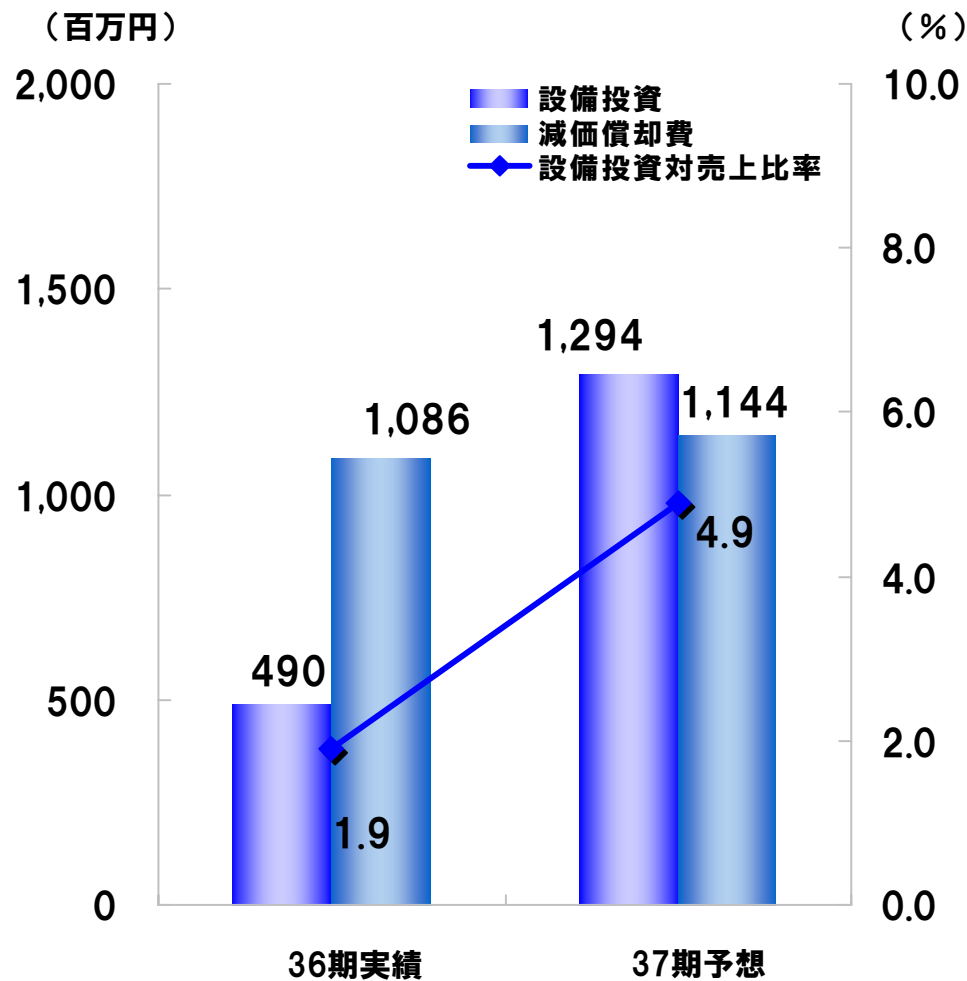
国	内	36期実績	37期予想			対36期	
			上期予想	下期予想	通期予想	増減額	増減率
国	内	8,033	3,643	3,829	7,472	△561	△7.0
北	米	3,311 (38.6M\$)	1,694 (20.6M\$)	1,633 (19.9M\$)	3,328 (40.5M\$)	16 (1.9M\$)	0.5 (5.1)
欧	州	7,205 (63.6M€)	3,351 (30.4M€)	3,463 (31.4M€)	6,814 (61.9M€)	△390 (△1.7M€)	△5.4 (△2.7)
ア	ジ	3,092	2,041	2,277	4,319	1,226	39.7
そ	の	3,976	2,359	2,206	4,565	588	14.8
合	計	25,620	13,090	13,409	26,500	879	3.4

※上表中の、北米、欧州の下段()の数値は、現地通貨ベース

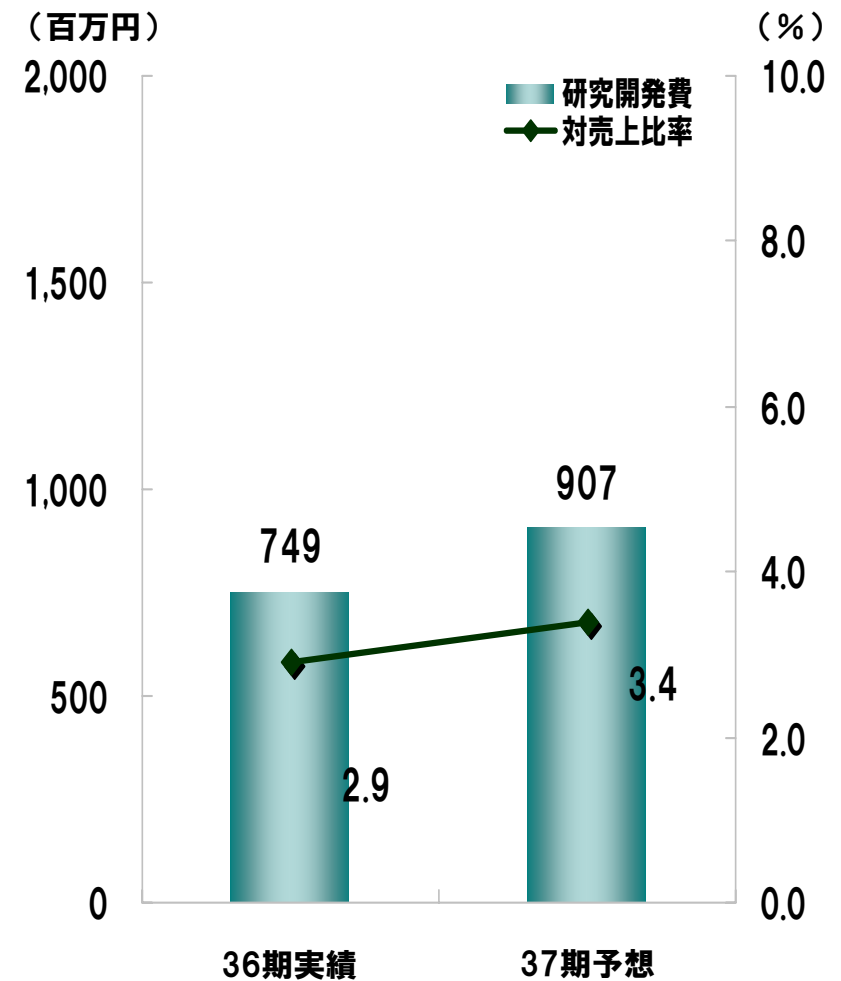
■ 国内 ■ 北米 ■ 欧州 ■ アジア ■ その他

設備投資、研究開発、減価償却予想

【設備投資・減価償却費】



【研究開発費・対売上比率】



3739経営戦略

経営スローガン：『ユーザー視点で取組む』

全社戦略 安定的な成長基盤確立のため、ミマキのグローバル展開を加速させる

営業・サービス力強化によるマーケットシェアの拡大

- ✓ 販売チャネルの構築・強化
⇒ディストリビューター・ディーラーの営業力アップのため管理強化を図る
⇒営業ノウハウを確立しグローバルに展開する
- ✓ サービス網の整備・充実
⇒コールセンター機能をフル活用する
⇒グローバルなカスタマーサポート体制を整備する
- ✓ トータルソリューションの提案
⇒プリント前後処理のノウハウを提供する

フレキシブル対応が可能な生産体制の構築とコスト削減への取組み

- ✓ 生産、調達のグローバル化によるコスト削減、リスク低減
⇒浙江御牧の黒字化を図り、コスト構造を改革するため、生産・物流体制を整備する
- ✓ 需要変動に対応するためのQCD(品質、コスト、納期)管理の強化
⇒製造品質管理体制をグローバルに展開する
⇒セイバン方式とMRP方式の組合せによる生産コストの削減ときめ細かな納期対応をする

ユーザーの儲けに繋がる「差別化」した商品開発

- ✓ より生産性の高い高画質商品の開発
⇒使う側の視点を重視した商品を開発する
- ✓ コストパフォーマンスの良いマシンとインクの開発
⇒インク、メディアを含めたトータルでコストメリットの図れる商品を開発する
- ✓ エコフレンドリーな商品開発
⇒省エネ・LED活用、エコメディアにプリント可能なマシン、エコインクを開発する

SG(広告・看板)市場向け 事業戦略 **Mimaki**

商品戦略

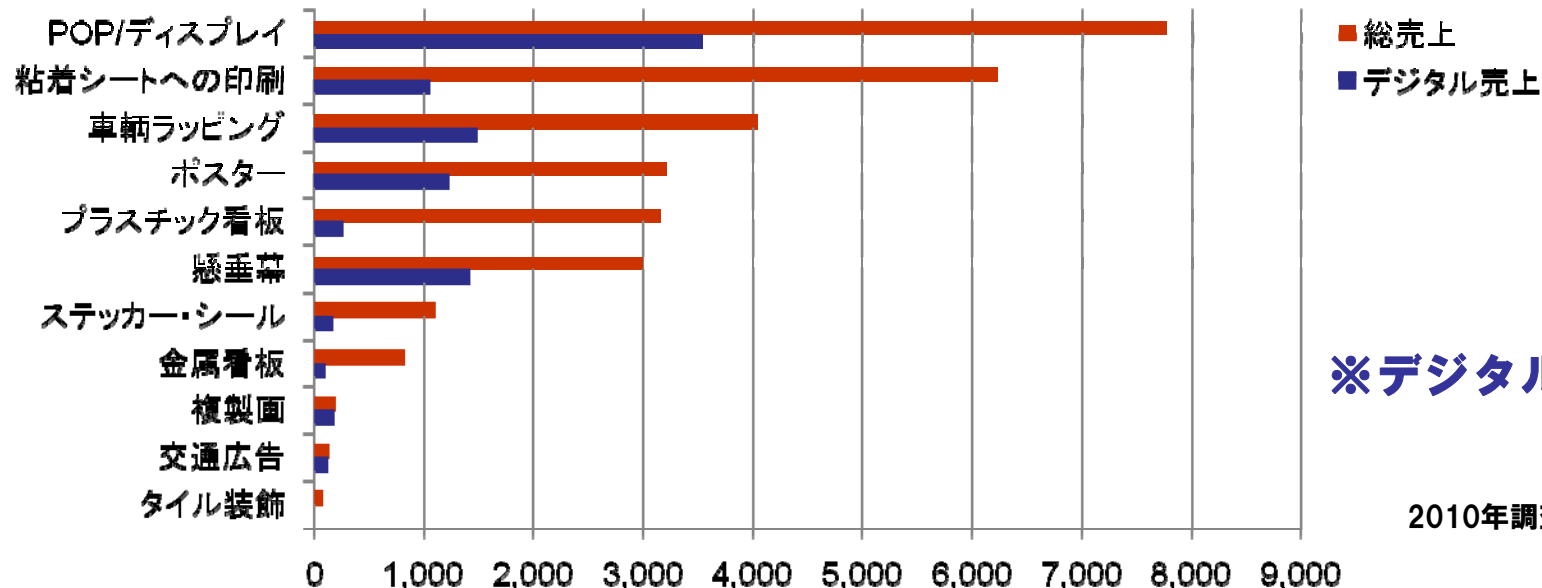
- 環境に優しいプリンタの開発
- 用途別に特長を持った商品の開発
- 高速プリントニーズに応える高画質・低ランニングコストプリンタの開発

販売戦略

- 新興国:高画質、高付加価値商品の販売推進
- 先進国:既存機種買い替えの促進
- 環境に優しいソフトサインの販売促進

米国SG市場デジタル進行度

単位：M\$



2010年調査会社推計データより

IP(産業用途)市場向け 事業戦略

商品戦略

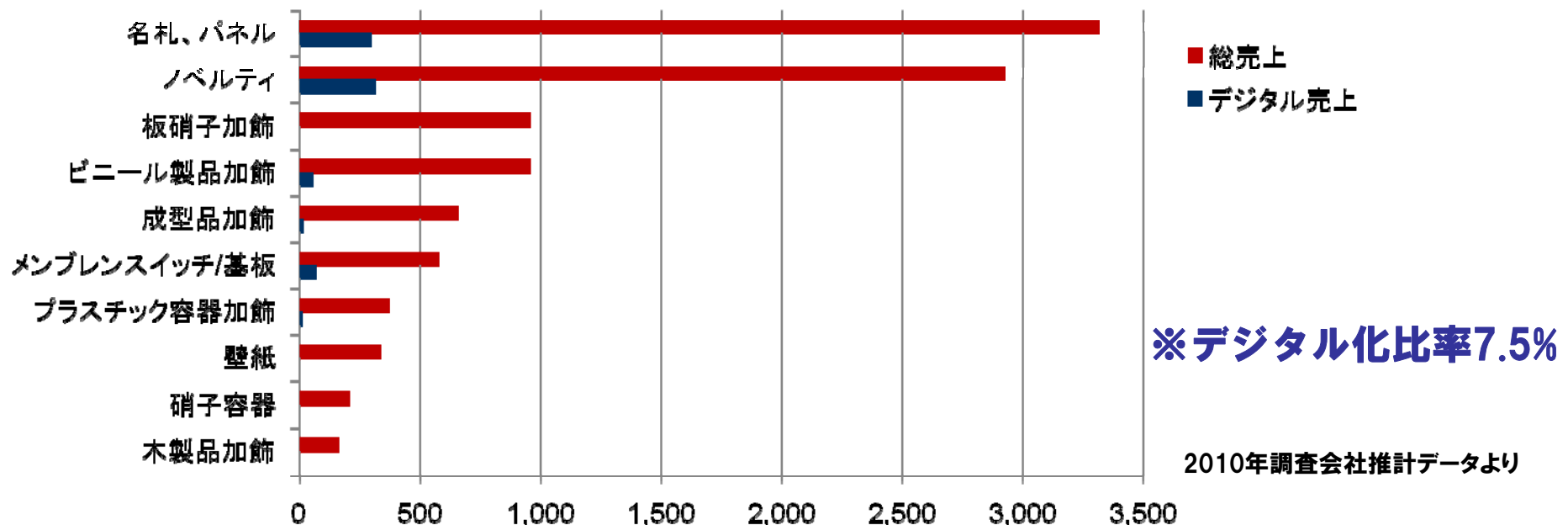
- 用途別に特長を持った商品の投入
- 高速化、サイズ展開により、競合に勝る商品企画の推進
- LED-UV技術を中心としたエコ・グリーン商品の開発

販売戦略

- 工業印刷市場へのオンデマンドプリントの提案
- 素材に適したプリントノウハウの提供
- ワークフローに合わせたシステム提案

米国IP市場デジタル進行度

単位：M\$



TA(布地・衣類)市場向け 事業戦略



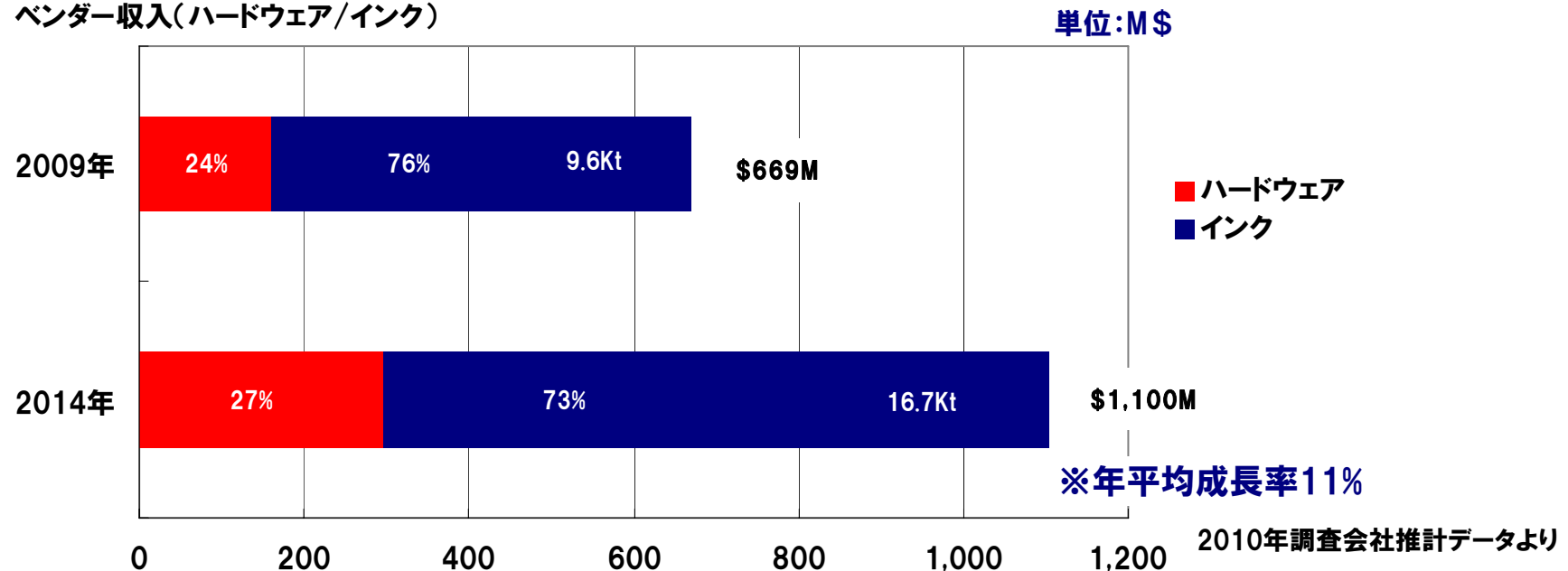
商品戦略

- 生産性を向上させた商品と低ランニングコストインクの市場投入
- 無人運転可能な高生産性機種の開発
- 捺染の排水汚染を軽減できるエコフレンドリーなシステムの市場投入

販売戦略

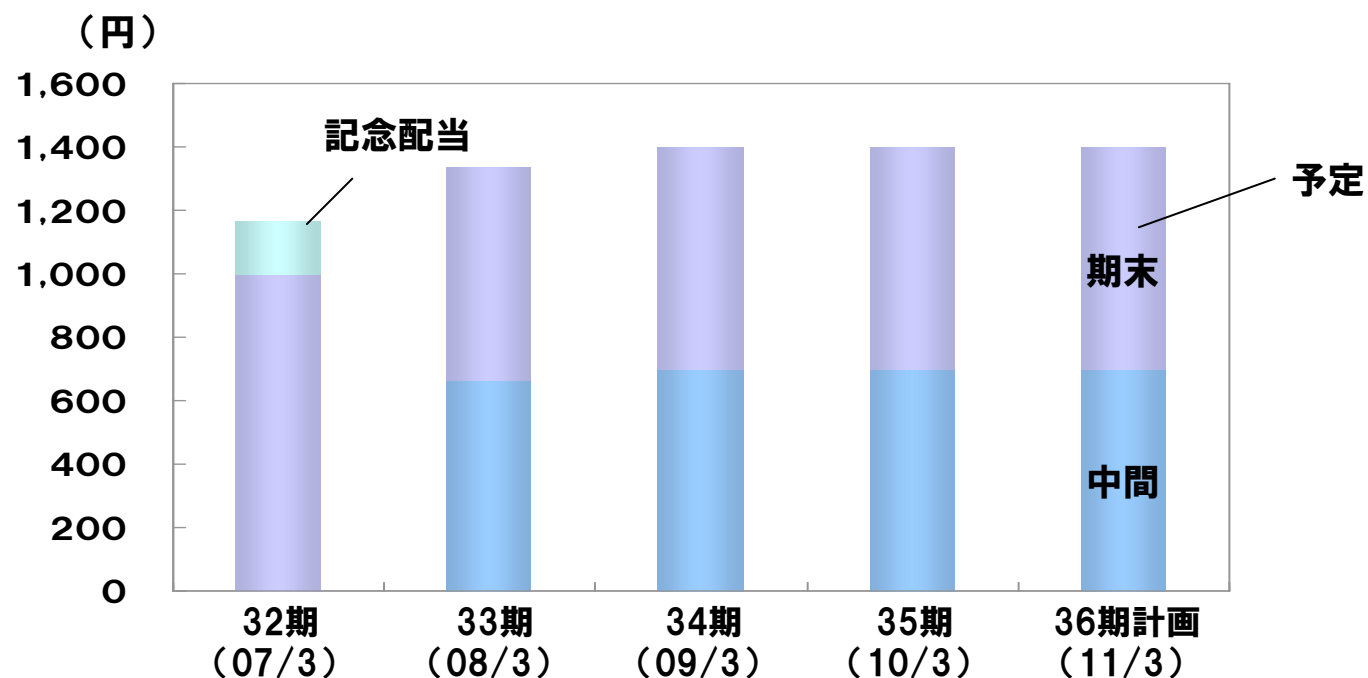
- 前後工程を含めたテキスタイル市場のデジタル化を推進
- インクを中心としたアフターマーケットビジネスの拡大
- エコフレンドリーな生地染色の推進

WWデジタルテキスタイル予測：ロールtoロール、フラットベッド/DTGプリンタ
ベンダー収入(ハードウェア/インク)



配当方針

株主への還元を第一として、配当原資確保のための収益力を強化し、継続的かつ安定的な配当を行うことを基本方針としております。



(注)2008年4月1日付で、1:3の株式分割を実施しております。上記グラフでは、過去との比較を容易にするため、32期及び33期の配当金額を便宜上3分の1にして表記しております。

本資料に関するお問合せ先

株式会社 **ミマキエンジニアリング**

経営企画部 IR・広報グループ

TEL 0268 (64) 2281

E-mail mimaki-ir@mimaki.jp

〔本資料お取り扱い上のご注意〕

本資料は、株式会社ミマキエンジニアリング(以下、当社)を理解いただくため、当社が作成したもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。